

Ⅲ－２ 次代を担う国際人材の育成

社会経済のグローバル化や情報化が急速に進む中で、国際的に共通の課題を認識し、活躍できる人材が求められています。

また、特に次代を担う青少年には、英語による実践的コミュニケーション能力を身に付けるとともに、アジアなどの言語や文化への国際理解を深め、国際社会に積極的にかかわることができる国際感覚を持つことが求められています。

●国際社会で役割を果たすことができる人材の育成

アジア地域を中心とした県民が参加する国際交流・協力活動や留学生などの受入れ、青少年の国際体験活動の支援、さらには国際活動拠点での様々な事業を通じて、国際性豊かな、国際協力の精神と実践力を兼ね備えた、次代を担う人材を育成します。

また、国際社会に積極的にかかわることができるよう、学校教育においても英語による実践的コミュニケーション能力の育成やアジア言語などの学習機会の充実を図るとともに、国際理解教育を推進します。

戦略プロジェクト

16 国際性豊かな人づくり

16 国際性豊かな人づくり (県民部)

〈現状と課題〉

- ・国際社会で役割を果たせる人材の育成が求められています。特に、青年期の国際体験活動を通じた次代を担う人材の育成が求められています。
- ・地域の国際交流・協力事業への参加機会拡大による人材育成のための土壌づくりが求められています。
- ・英語による実践的コミュニケーション能力の向上が求められています。



海外技術研修員の受入れ

〈めざすすがた〉

様々な国際交流・協力活動を通じて国際性豊かな人材が育成され、環境など地球規模で考えなければならない課題に対して主体的に取り組んでいる人が増えています。

〈目標〉

- 国際交流・協力事業の参加者数 (単年度) (単位：人)

実績(2002)	現状(2003見込)	2004	2005	2006
2,431	2,490	2,820	3,030	3,070

- 英語コミュニケーション能力の向上

高校生のTOEIC^{*1}、英検^{*2}などの受験を奨励し、英語学習の意欲を高めるとともに、ネイティブスピーカーの配置増など、英語教育の環境を充実することにより、英語コミュニケーション能力の向上を図ります。

〈取り組む事業〉

学術・スポーツをはじめ、様々な分野で県民が参加する国際交流・協力活動を実施するとともに、神奈川に蓄積されている技術や人材を生かした国際協力活動、青少年の国際体験活動やスタディツアーなどを通して、次代を担う国際性豊かな人材を育成します。こうした国際性豊かな人材育成の一環として、小・中・高等学校を通じた英語による実践的コミュニケーション能力の育成を重視した国際・英語教育を進めます。

No.	構成事業	項目	単位	現状 (2003見込)	年度別目標		
					2004	2005	2006
1	国際交流・協力を通じた人材育成 三県省道 ^{*3} 学術フォーラム、三県省道スポーツ交流などの県民が参加する交流事業などを進めるとともに、留学生などの受入れなどの国際協力活動を進めます。	国際交流・協力参加者数 (県・民間)	人	1,980	2,250	2,400	2,410
2	青少年の国際体験活動の支援を通じた人材育成 県内青少年が海外で体験するボランティア活動や留学、研修などの国際体験活動を支援します。	国際体験活動の参加者数 (県・民間)	人	50	50	50	50
3	民間などと連携した国際人材の育成 民間などとの連携による国際人材育成事業、指導者を養成する講座などを行うとともに、海外の現地N G Oの活動などを体験するスタディツアーを実施し、国際人材を育成します。	湘南国際村などにおける国際人材育成事業参加者数 (県・民間)	人	200	260	300	330
		地球市民学習指導者養成講座参加者数 (県・民間)	人	260	260	260	260
		国際交流協会スタディツアー(仮称)参加者数 (県・民間)	人	検討	検討	20	20
4	国際・英語教育の推進 小・中・高等学校を通じて、英語による実践的コミュニケーション能力が身につくよう、英語教育の充実を図るとともに英語教員研修を進めます。また、多様な文化や言語などへの関心を高めるよう国際教育の充実を図ります。	小学校英会話活動モデル校 (県)	校	—	20	20	20
		高校へのネイティブスピーカーの配置 (県)	人	68	96	124	152
		英語教員研修参加者 中学校 高校 (県)	人	50 100	70 300	80 300	100 300
		国際・英語教育拠点校 (高校) (県)	校	5	20	20	20

*1 TOEIC(トイーック)…英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテスト((財)国際ビジネスコミュニケーション協会が実施)
 *2 英検…実用英語の普及・向上を目的に(財)日本英語検定協会が実施する検定
 *3 三県省道…神奈川県と友好提携先である中国・遼寧省、韓国・京畿道のこと。三地域間ではネットワーク交流を実施しています。
 ※ 多文化共生・理解の推進については、戦略プロジェクト「39外国籍県民とともにくらす地域社会づくり」などにより取り組んでいます。